

第4回教育大綱普及推進研究部会要旨

・日時 令和3年12月20日午後6時30分より

◇協議事項

・第3回部会で出された土地利用計画についての質問に対する回答の補足

(塩川課長補佐説明)

現在建設出来ないとなっている区画について、他区画との境にあり建設に支障が無い等条件が整っている場合であれば、土地利用審議会で承認、町民からの合意等があれば土地利用計画を変更し建設が出来る可能性もある。

(1) 保育士懇談会、町民説明会、パブリックコメントで出された意見について

(2) 2園を存続した場合と統合した場合の職員人件費の比較について

(塩川課長補佐説明)

【菟本委員】保育士との懇談、パブリックコメントで新しい提案がなされ、認識を新たにした。大町市で進められているように、保育園の方向性を「再編」ととらえ進める方法もある。一資料を提示し、新しい提案について説明—A案は財政面で困難であるため、B案またはC案を希望する。町施設全体像から将来設計が必要である。教育大綱をベースに「何が池田町の子どもたちにとって最良化」を議論しハードルを乗り越えながら方向性を考えることで、これまで以上に池田町の教育が発展したと内外共に自負できるようにしていきたい。

【竹内委員】パブリックコメントで圧倒的にC案が多いので、C案に絞っても良いのではないかと。町民は財政や将来のことも含め考えている。2番目にA案とB案のどちらが良いかというところ、B案の2階建てについて幾つか懸念する意見が出されている。そのためC案を優先、2番目にA案としたい。

【山本委員】パブリックコメントの数の多さからC案としたい。しかしB案も重要視したい気持ちはある。

【田中委員】第1回目の説明会に出席したが、保護者の出席が思ったよりも少なく残念であった。もっと保護者の意見を聞きたい。自分ではB案またはC案を希望する。C案を希望する声は多いが松本市、安曇野市のように待機児童が無く、二つの園から行く園を選べる所も町の良い所なので、B案も大切にしたい。

【縣委員】自分も会染地区在住のためA案が良いと思ったが、財政状況の厳しさがわかり、難しいのではないかと。B案とC案を希望する。

【丸山高徳委員】財政が厳しいという点から始まっているので、A案は厳しいとなるが、夢が無くなってしまふ。財政面からC案が優先ということになるが、C案には夢が無い。保育士は減らさなければならぬという考え方になってしまうが、逆に増やさなければならぬと思う。

20年後位には保小中一貫の施設を作れば良いと思うが、現在は会染地区に保育園を残して欲しいので、B案を希望する。また最終はどこで決定するのか。

【寺嶋学校保育課長】最終的には総合的に判断し町が決定する。

【森泉委員】B案とC案を希望する。財政面、少子化は検討するために重要な要素である。C案としても夢のある保育園づくりは可能であると考えている。町民説明会で優先順位についての質問があったが、①安全面としたい。送迎の利便性について、池田町はとてもコンパクトであり、然程不便では無いのではないかと。また会染地区への存続について、現在は池田・会染それぞれの地域の重要性を考えるのではなく、町全体が良い方向に行くように町民は捉えているのではないかと。

検討開始時は会染地区に保育園を残して欲しいと思ったが、会を重ねる毎にその考え方は薄れて来ている。C案を最優先としたい。

【大厩委員】B案とC案を希望する。町全体を見た時に現在の池田と会染保育園の配置は適正である。B案は浸水被害の際にも2階建てにより垂直避難をする計画であるので良い。C案はパブリックコメントでも賛成する声が多い上、少子化による園児数減少となっても1園となれば幼少の頃から仲良く出来、賑やかになる等のメリットがあるからである。

【笠井委員】B案とC案を希望する。B案では、2園それぞれの園の個性を活かし、いろいろな方法で保育が出来、多様性がある良さがある。C案は、園児の減少、保育士不足等から考えられる。ただ、どのような形態になっても夢のある楽しい保育をすることを目指していくことが保育士の努めである。

【丸山玲子委員】同じくB案とC案を希望する。B案にして2階建てへの危険性を懸念する声があったが、2階建ての保育園、幼稚園は数多くあり、園児はそこでの生活に馴染んでいくものだと考える。浸水被害への対応はかさ上げでは不十分であるため、対応には2階建ての方が安全であると思う。

C案については、笠井委員と同じ理由による。

【田中委員】これから子育てをする世代にもっと意見を聴いて欲しい。自分としては会染保育園卒園者でもあるので、保育園が無くなるのは寂しい気持ちがある。但し少子化の進む中致し方無いという気持ちもある。

【縣委員】会染地区の方は、池田保育園が新しくなった後、いつ会染保育園は新しくなるのか、と楽しみに待っておられたので、統合することになった際はきちんと説明する必要があると思う。

現実的にはC案にならざるを得ないかとも思うが、現実にはそのような声もあるのが事実である。

【寺嶋課長】今後のスケジュールについて、今回が出された後答申を出した後令和5年度には町民、意見との意見交換後方向性を決定する。

【部長】保育の質という面でどうか。

【笠井委員】保育士の人数が多ければ手厚くなるが、少なくとも工夫をし、子どもの意見を聞き、今この子どもにどのような保育をすれば成長につながるか、また明日もやりたいと思うか考え進めていくことが大事である。

【丸山玲子委員】統合すると1クラスの子どもの人数と職員数が増えるので相談して対応していく。場所についても自然環境等異なるが、それぞれの場所に合わせ工夫をして子どもが豊かな体験が積めるよう努めていく。

【竹内委員】C案について、多様性の尊重は統合して大人数になった方が育ちやすいというメリットがある。統合すると財政面等合理的な面からみるとやむを得ないというデメリットばかりみられているが、良い面もあるので、多角的に検討されたい。

【部長】意見を集約するとB案では浸水被害を考慮する必要がある。良い面としてお互いの特色を活かした保育が出来る。

方向性を決定するにはより多くの方の意見を聴いて欲しい。

C案は様々な点で良いことがある。人数が増えても今それぞれの園で行っていることを基盤にしてより良い保育を目指して進めていけば、夢のある活動が出来るだろう、ということである。

【竹内教育長】それぞれの案は委員の価値基準で推す案が分かれるのは当然である。どの案が良いということよりもそれぞれの案に一利あるので、それぞれを公平に扱うことが大切である。

今後最終決定は町長である。パブリックコメントで意見は頂戴しているが、部会はいくまでも保育・教育面を重視し議論を深めて頂きたい。

またパブリックコメントでの意見はC案が多いが、その中の半分位は町職員では無い。

【森泉委員】何故答申は1案では無く2案とすることになったのか。

【竹内教育長】1案に絞れないからであるが、部会で議論をして1案にしようとの結論に達したらその方向で進めば良い。

【塩川課長補佐】先ほど教育長からC案が良いとの意見は大多数が職員では無いかとの話があったが、実際は49人中15人である。もう1人職員から意見が出されているが、意見はC案では無い。また保育士からはパブリックコメントは出されていない。

また未就園児の保護者サークルの方11人から意見が出されているが、皆C案に賛同する意見であった。その方々の居住地は不明である。

【竹内教育長】この方向性について、最終決定は町長が行うが、町民説明会やパブリックコメントで頂いた意見の中でA案が良いとおっしゃる方には強い思いがある。平成27年の会染保育園建設検討委員会当時、もしくはそれ以前より、県委員の意見にもあったように池田保育園新築の後は会染保育園も建て替えてもらえると待っていた方々である。方向性がそのようにならなかった場合は、この委員会も説明責任があるということをお願いしたい。

【部長】A案にならなかった場合、この案としない理由を明確にしたい。パブリックコメントで頂いた意見をご覧頂き、意見を求めたい。

【森泉委員】会染地区に居住しているので、地域に保育園が残って欲しいと思っているのは間違いが無いが、『地域』と言えば『池田地区』『会染地区』と分けて考えるのではなく、今後は『池田町』と考える方が多いのではないかと。

この部会では『保小中15年プラン』や『第2次教育大綱』を踏まえて考えていくべきだと思う。保育の質は財政状況に影響を受ける。財政のことを考えるな

らばA案を選ぶのは難しいのでは無いか。

【葭本委員】統廃合により学校・保育園が地域から無くなるかどうかは住民の方の危機意識がどれだけあるか、ということにかかっている。今回会染地区住民の方が、保育園が地域から無くなる可能性があることについてどう考えるのか一番知りたい。住民説明会やパブリックコメントで意見が出されているが、本当の意識が見えて来ない。区長会（自治会協議会）では、その話をしているのか。

【寺嶋学校保育課長】自治会協議会ではその話は出していない。

【竹内教育長】答申に、今後令和4年度、5年度にかけてより広く多くの方、多くの年代の方に意見を頂けるよう希望するということを入れることも良いのではないか。

また、今まで頂いている意見では少な過ぎて判断が出来ないと入れるか、もしくはこのように意見を募っても多くの方から声が出て来ないので、大方の方は感心が無いのでないか、と判断することも一つの選択ではないだろうか。

いずれにしても結論として方向性を示すと共に、今後の議論の希望を答申に盛り込むことも良いのではないか。

【丸山高徳委員】飯山市に岡山小という規模の小さい学校があった。高齢の方は無くすことに反対であったが、保護者の方は子どもに大きな学校と一緒に勉強したいと希望され、その学校は合併により廃校となった。

また中野市では統合したいと行政が話を出した際保護者が大反対をして、最終的には統廃合となったが、反対の意見が大きかった。麻績小学校と筑北村坂井小学校との合併でも大きな問題となり保護者の意見で決定されたり、大町市では大町市少子化社会における義務教育のあり方検討委員会という組織で検討を始め、再編に数年かけて議論していった。何処でも地域の方の意見により進められていった。

町で出された意見を見ると、（小中学校の統廃合の問題と比較し）幼児教育の重要性を把握されていないのではないかと思う。保小中15年プランでも、幼児教育の重要性についてうたわれているので、財政問題ばかり前面に出されるのでは無く、教育面から意見を出していかなければならない。そうでないと財政面からのみ決定されてしまう。

幼児教育の重要さも併せて訴えていかなければならない。

質問であるが、保育士配置の基準は国で決まっているが、町はもっと少人数でクラスを編成しても良いのか。

【笠井委員】町の考えで配置は出来る。但しそのように保育士が確保出来るかが問題ではある。

現在特に1歳児は国の基準では子ども6人に対し保育士の配置は1人となっているが、その通りの配置ではとても子どもに手が回らず保育が出来ないので、もっと多くの保育士を配置している。また支援が必要な園児に対して加配保育士も配置している。

【丸山玲子委員】同じ回答ではあるが、保育士が確保出来ればもっと多くの保育

士を配置している。

【竹内教育長】国の基準を下回ることは出来ないが、自治体の裁量で増やすことは出来る。

【部長】地域から統廃合で保育園が無くなることに對し、どう考えるか。

【山本委員】その地域の住民ではないと他人事に感じるのであろう。

自分としては、会染地区にあった方が良いと考える。財政面を重視してC案と決定することは良くない。

以前松川村で消防団に入っていて、そこでも人手不足により広報等で加入を促進した。保育士不足の面も待遇を良くする等確保する方法はあるのではないか。

【葭本委員】統合する案となった場合、保育士から子どもにとっての良さを挙げて欲しい。

また今後の進め方について質問であるが、2月9日に開かれるのか。

【寺嶋課長】この研究部会の上部会議である学びの郷活性化委員会が開かれ、そこで決定した方向を報告するということである。

部会としてはこの後も開催するか未定であり、開催するにしても日時は決まっていない。

【葭本委員】本日の会議では方向性は絞り切れないと考える。

【竹内教育長】そのような意見であれば、もう一度開催して欲しいとご意見を出されることも良いのではないか。

【葭本委員】来年度は違う部会が開かれるのか。

【竹内教育長】来年度からは今年度出された答申を受けどうするか、教育委員会と町が協議していく。

【塩川課長補佐】今までの議論で答申は1案に絞ることは難しいと思われるので、2案とし、教育長からの話にあったように今後の議論への要望をどうするか、そこを議論するのはどうか。

【部長】B案とC案では2園のままにするか、統合するか、保育の面から意見が深まると思う。但しA案については場所も未定で具体的な案が見えて来ないので議論しにくい面がある。

またA案するとなった場合は用地選定から始めることになり時間が掛かり、老朽化が進む中対応の遅れが心配である。もしA案となった場合、建設までどの位時間が掛かるのか。

【寺嶋課長補佐】新しい環境でスタートする時期は令和8年度が目標であるが、そこに間に合うかは保障が出来ない。

またA案かB案という選択になり、最終決定がB案となるとすれば、何故A案では無くB案かという議論も深めておく必要があるのではないか。

【竹内教育長】今の点については、浸水被害を鑑み、A案では無くB案にしたと言うことも出来るのではないか。

また部会の進め方の提案として、まずC案を残すかどうか議論をする。C案を残すということになれば、次にA案かB案のどちらを残すか議論をする。また本

日そこまで議論をするのは難しいということになったら、後日個々に事務局に意見を頂きそれをまとめるということによろしいか、ご意見を頂き決定させて頂ければどうか。

【部長】再度会議を開くか、個別に意見を頂くか、どちらがよろしいか。

【竹内委員】再び会を開いて決定するのは難しいのではないか。

【丸山高徳委員】幼児教育大切さから思うと大勢の子どもでは保育士の目が行き届きにくいのでC案はいらないと思う。また財政面からA案は難しいと思う。

地域の子どもは地域で育てるという意味でも2園残すことが大事である。B案とC案の2案を残せば、最終的にはC案となってしまう。

【部長】意見としてA案を推す意見は無かったので、B案とC案に絞ることで議論を進めたい。また会議を開くかどうかはいかがか。

→個々に意見を出すという声が多い。

【寺嶋課長】1案に絞るか2案とするかも含めて意見を頂くということで良いか。

→良い。

今後の進め方について（事務局説明）

個々に意見を出して頂く。それぞれの案が良いという理由を明確に示して頂くことにする。また今後への進め方への意見も頂くことにする。

【大厩委員】地域の子どもは地域で育てるということから2案を残した方が良いとの意見が出されているが、地域の子どもは地域で育てるということもC案で言えると思うがいかがか。

【竹内教育長】「地域」という意識が住んでいる周りの地域に限定するのか、もしくは森泉委員の意見のように「町」全体に広げるかという意識の差であると思う。

【塩川課長補佐】意見を頂き、それをもとにもう一度部会を設けて答申について議論をし、学びの郷活性化委員会に報告する予定で進めたい。

閉会